

第16回日本総合歯科学会学術大会開催報告

内田 貴之 (大会長)
多田 充裕 (実行委員長)
青木 伸一郎 (準備委員長)

第16回日本総合歯科学会学術大会（内田貴之大会長，多田充裕実行委員長，青木伸一郎準備委員長）は、「歯学における臨床推論」のテーマのもと，日本大学歯学部創設100周年記念講堂（東京都）での令和5年10月28日，29日の両日に現地開催と令和5年10月30日から7日間のオンデマンド配信で開催されました。



開会挨拶 内田大会長



長谷川理事長



多田実行委員長

現地参加者は200名程度でした。口演とポスター合わせて38題の発表がありました。現地にて学術奨励賞の審査が行われ，審査の結果，優秀口演賞は野村みずき先生（新潟大学），最優秀若手ポスター賞は佐藤宏樹先生（新潟大学），優秀若手ポスター賞は竹下梨乃先生（日本大学）と渡邊護熙先生（九州大学）がそれぞれ受賞されました。



優秀口演賞 野口先生



最優秀若手ポスター賞 佐藤先生



優秀若手ポスター賞 竹下先生



優秀若手ポスター賞 渡邊先生

現地開催の初日に赤司征大先生（WHITE CROSS 株式会社）による特別講演「歯科医療の進むべき道」が行われました。「歯科医学と経営学」の視点から、これからの歯科医療の進むべき道について講演が行われました。



赤司先生



鋪野先生



勝又先生



高橋先生

2日目は「歯学における臨床推論」をテーマとしたシンポジウムが行われ、内田貴之先生（日本大学松戸歯学部）、勝又明敏先生（朝日大学歯学部）、高橋慶壮先生（奥羽大学歯学部）らによる自身の臨床経験に基づいた臨床推論の貴重な講演をしていただき、会場参加者からの活発な質疑応答が行われました。

教育講演は鋪野紀好氏（千葉大学医学部）による「診断推論ストラテジー ―良質な診断のために―」が行われました。

おかげさまで大盛況のうちに無事終了することができました。最後になりましたが、本学術大会を開催するにあたり、様々なご助言、ご協力をいただきました紙本 篤副理事長、また長谷川理事長をはじめ役員・理事の先生方、特別講演、シンポジウム、教育講演の講師の先生方、口演、ポスター発表の演者および座長を行っていただいた先生方、協賛をいただきました企業の皆様、ご参加いただいた皆様方に、この場を借りて御礼を申し上げます。